

多施設共通データウェアハウスを用いた、検査ベースで診断された 感染症イベントの抽出アルゴリズムの開発と妥当性検証

2025年12月12日作成 第1版

2025年12月23日作成 第2版

1. 研究の概要

本研究は、多施設共通データウェアハウス（DWH）に蓄積された診療情報・検査情報を用いて、梅毒やHIV等の「検査ベースで診断される感染症イベント」を抽出するアルゴリズムを構築し、その妥当性（陽性的中率・感度など）を体系的に検証することを目的とします。

本研究により、感染症領域におけるDWHを用いた研究の共通基盤整備や、将来的な新興感染症・新規検査法研究への応用が期待されます。

2. 研究の対象

以下の期間に、下記の研究参加医療機関を受診された患者さんが対象となります。

対象期間：2008年4月1日～2025年11月30日（予定）

対象医療機関：

大阪大学医学部附属病院

大阪急性期・総合医療センター

大阪国際がんセンター

大阪医療センター

JCHO 大阪病院

予定対象者数：約90万人

研究実施予定期間：研究機関の長の許可日～2029年3月31日

3. 研究方法

本研究は、既に保管されている診療情報（既存情報）のみを用いる後方視的観察研究です。各施設の共通DWHから、研究目的に必要な範囲でデータを抽出し、抽出条件（診断名・処方・診療行為等）で同定した感染症イベントが、検査陽性（ゴールドスタンダード）と整合するかを検証します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

個人を直接特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は利用しません。

本研究で利用する主な情報は以下です。

基本情報：年齢、性別

レセプト情報、DPC情報

検体検査結果

画像検査（※研究に必要な範囲）

感染症の臨床情報（感染症の種類、診断日、診断情報、治療情報等）

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は多機関共同研究であり、各参加施設で抽出したデータは、研究目的に必要な範囲で研究事務局へ送付され、解析に用いられます。送付に際しては、共通 DWH 上で個人情報削除され、カルテ ID 等の連結符号は研究用識別コードへ変換されます。データの送受信には閉域網（VPN）等を用いるなど、安全管理措置を講じます。

5. 研究組織

研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科 変革的ヒト検体解析学（日本財団）寄付講座
寄付講座准教授 佐田竜一

研究分担者

大阪大学大学院医学系研究科 変革的医療情報システム開発学（日本財団）寄附講座

寄附講座助教 和田 聖哉

大阪大学大学院医学系研究科 変革的ヒト検体解析学寄付講座

寄附講座助教 清川 博貴

大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄付講座

寄付講座准教授 山本舜悟

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学
教授 忽那 賢志

大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学
教授 武田理宏

大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学
教授 森井英一

解析責任者

大阪大学大学院医学系研究科 変革的医療情報システム開発学（日本財団）寄附講座

寄附講座助教 和田 聖哉

事務局担当者

大阪大学大学院医学系研究科 変革的ヒト検体解析学寄附講座

寄附講座准教授 佐田竜一

共同研究機関及びその研究責任者

大阪急性期・総合医療センター 総合内科・感染症科 部長 大場 雄一郎

大阪国際がんセンター 感染症内科 診療主任 尾崎 正英

大阪医療センター 感染症内科 医師 小西 啓司

JCHO 大阪病院 感染症内科 診療部長 長田 学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪急性期・総合医療総合医療センター 総合内科・感染症科

研究責任者：大場 雄一郎

相談窓口：大阪急性期・総合医療総合医療センター 総合内科・感染症科

連絡先：06-6692-1201